



高速しが

令和2年
(2020)
8月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

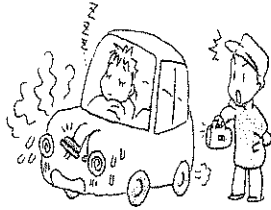
危険！車両火災の原因は？

猛暑が続く夏の高速道路では、路面の温度が50度を超えることが多々あります。例年この時期には車両火災の発生が予測されます。ドライバーの皆さんには、車両火災の危険性を再認識して頂いて、火災事故を起こさないための運行前の点検をしてください。

あなたの車に車両火災の危険がないかチェックしてみましょう。

★ 車中仮眠はエンジンを切ってから！

エンジンをかけたままでの車中仮眠は、知らず知らずのうちにアクセルを踏み込むことでエンジンが高回転を続けて異常に加熱し、車両火災を引き起こすことがあります。また、燃料の無駄遣いや騒音公害のほか、一酸化炭素中毒を引き起こす危険性も高くなるので、絶対にやめましょう。



★ 駐車場所は安全ですか？

高速走行後、エンジンや排気管が熱くなっているとき、枯れ草や紙くずなどがある駐車場所に、エンジンをかけた状態で長時間駐車しておく、高温となっているエンジンやマフラーなどの熱によって発火する危険があります。

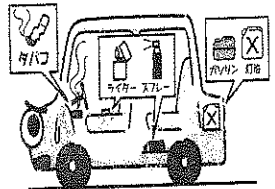


★ エンジンオイルの点検を忘れずに！

エンジンオイルはエンジンの潤滑剤です。点検を怠ると、エンジンオイル量が減っていたり、交換時期を忘れてオイルの劣化を招くと潤滑不良を起こし、最悪、エンジンが破損し火災が発生することがあります。

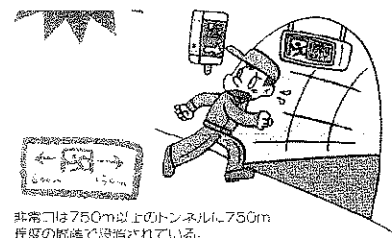
★ 車内に燃えやすいものを置いていませんか？

高温になる車内に、ライター、携帯ガスボンベ、揮発性の高い液体などを置くと溶解、膨張するなどして発火の危険性があります。また、点検後、エンジンルームに布、紙などを置き忘れると、エンジンの加熱によって発火する危険性があります。



★ トンネル内で火災が発生したら

車を左に寄せ、サイドブレーキをかけ、エンジンを止め、キーはつけたまま速やかに車外へ避難しましょう。
押しボタン式通報装置か非常電話で通報しましょう。
消火器で初期消火しましょう。



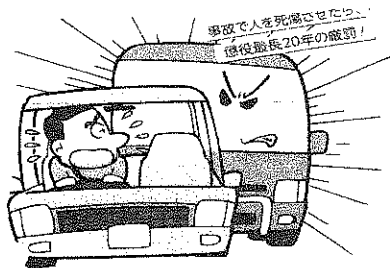
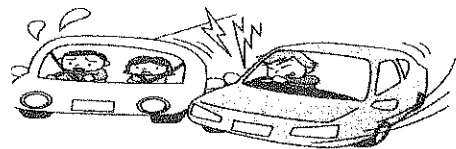
非常口は750m以上のトンネルに、750m程度の間隔で設置されている。

あおり運転は厳罰！

「あおり運転」行為による事故や事件が全国各地で続発し、社会問題化したことを背景に罰則の創設と行政処分が整備されました。「あおり運転」は重大な交通事故につながる悪質、危険な行為です。車を運転する際は、周りの車の動きなどに注意し、安全な速度での運転・十分な車間距離を保つ・無理な進路変更や追い越し等は絶対にやめましょう。

あおり運転 10 の違反行為

- 1 対向車線にはみ出しての接近
- 2 不必要な急ブレーキ
- 3 車間距離不保持
- 4 急な車線変更
- 5 幅寄せや蛇行運転



- 6 不必要なクラクションの反復
- 7 最低速度違反
- 8 左側からの追い越し
- 9 ハイビームの継続
- 10 高速自動車国道等での駐停車

あおり運転行為を受けたときは

- ☆相手にせず速やかに進路を譲りましょう。
- ☆ドアロックをし挑発されても決して外に出ないようにしましょう。
- ☆十分な距離をとり安全な場所に退避し、110番しましょう。
- ☆ドライブレコーダーやカメラ等を有効に活用しましょう。

思いやり・ゆずりあいで安全運転を